

## ◆授業設計のポイント◆

- ・ 情報を多面的・多角的に精査し構造化する学習過程の設計

## 国語科学習指導案

学 級 3年3組（男子17名 女子19名 計36名）  
場 所 3年3組教室（3年校舎2階）  
授業者 教 諭 齋 藤 暢 貴

### 1 単元名

私たちが生きる環境を考える～企画会議～

学習材名「合意を形成し、課題を解決する—企画会議—」

### 2 本単元における言語活動

私たちが生きる環境をよりよくするための企画を提案する活動

（関連：第3学年「話すこと・聞くこと」言語活動例イ「互いの考えを生かしながら議論をする活動」）

### 3 単元設定の理由

#### (1) 教材観

本校国語科では、「多様な情報を多面的・多角的に精査し構造化する」学習過程の中で、「生徒の思考を広げ深めるための質問を意識した対話」を通して、深い学びの実現を図ろうとしている。学習材「合意を形成し、課題を解決する—企画会議—」では、一人一人がアイデアを出し合い、グループで企画としてまとめる話合いを行ったあと、その企画を検討する企画会議において合意を形成し、課題を解決する方法を学ぶ。企画会議で互いの企画をさまざまな視点から検討する中で、「質問を意識した対話」が行われ、それによって「多様な情報を多面的・多角的に精査し構造化する」力を高めることができると考える。

#### (2) 生徒の実態

本学年の生徒は、複数の説明的文章を読み比べ、多面的・多角的に情報を比較したり、関係付けたりしながら、論の展開についての考えを広げる学習や、自ら複数の情報を収集し、それらを分類しながら整理し、地域情報誌としてまとめる中で、自分の考えを深める学習を経験している。そのような学習を踏まえ、本単元では、企画会議に向けて自ら複数の情報を収集し、それらを比較したり、分類したり、関係付けたりする中で合意を形成しながら企画を練り上げることで、情報を多面的・多角的に精査して構造化し、考えを広げ深めることができる学習活動を展開していく。

#### (3) 言語活動の特性

企画会議は「話すこと・聞くこと」の領域の中でも、「話し合うこと」に位置付けられる。現実社会に存在する課題に対して、解決に向けた合意形成のために討議・協議を行う活動を通して、互いの考えの共通点や相違点を明確にし、それぞれの良さを生かしたり、調整点を見つめたりしながら、納得し合える結論を導く言葉の力を高めることを目的としている。そしてその目的を達成するために、互いの企画を多面的・多角的に検討するための質問を意識した対話が重要となり、それを通して、互いの考えを広げ深めることができると考える。

#### (4) 言語活動の工夫

企画会議をするための共通基盤として、前単元「フロン規制の物語—〈杞憂〉と〈転ばぬ先の杖〉のはざままで」での学習を生かして、本単元の学習を展開する。「読むこと」の学習として理解したことを、「話すこと・聞くこと」の学習として表現する活動につなげることで、より深い学びが実現できると考える。また、企画会議を通して互いに協力して問題解決や合意形成ができるように、司会（ファシリテーター）を設定し、さまざまな意見を引き出したり調整したりしながら話合いが展開できるようにする。

#### 4 単元の目標

- (1) 情報と情報との関係について理解を深めること。 (第3学年 [知識及び技能] (2)ア)
- (2) 目的や場面に応じて、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。  
(第3学年 [思考力・判断力・表現力等] A「話すこと・聞くこと」ア)
- (3) 互いの発言を生かしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすること。  
(第3学年 [思考力・判断力・表現力等] A「話すこと・聞くこと」オ)
- (4) 合意形成をしながら、自分たちの生きる環境をよりよくするための企画を提案しようとしている。  
(主体的に学習に取り組む態度)

#### 5 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
(1) 情報と情報との関係について理解を深めることができる。 (第2～5時)	(2) 目的や場面に応じて、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(第2・3時) (3) 互いの発言を生かしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。(第4・5時)	(4) 合意形成をしながら、自分たちの生きる環境をよりよくするための企画を提案しようとしている。(ループリックシートへの記述)

#### 【汎用的な資質・能力の育成に当たって】

本単元では、②情報活用力レベル4（情報を比較しつつ、それらの真偽を見極め、適切に活用することができる）の姿の具現化を図る。

#### 6 単元で目指す深い理解の姿

以下の三つの視点を踏まえて、例えば以下のような企画を提案することができる。

- ① 重要度→企画が重要と言える根拠となる情報を示す。
- ② 実現可能性→企画が中学生という立場で実行できる。
- ③ 効果→企画がよりよい課題解決に結び付く。

私は自分たちが生きる環境をよりよくするために、「ゴミの分別と節電徹底運動」という企画を提案します。

(①) 今、地球温暖化により、海面の上昇や熱帯化が進行し、陸地の消滅や感染症の拡大という問題が地球上で現実起きています。そして、その原因の90%は、温室効果ガスと呼ばれる二酸化炭素やメタンの増加です。そこで、温室効果ガスの削減のため、「ゴミの分別と節電徹底運動」を企画し、実行することが重要だと考えました。

現在、世界中で地球温暖化を食い止めるための多くの対策が出され、実践もされています。しかし、企画会議の中で、「どんなにすばらしい環境保全の取組も、今すぐ私たち中学生が実行できなければ意味がない」というものがありました。(②) ゴミの分別と節電なら、意識一つで今すぐに誰でも実行できます。そこで、生徒会と連携して、毎週水曜日を「ゴミの分別と節電徹底デー」として、自分たちがそれを実行できたかをチェックし、学校全体としてゴミの分別と節電の意識を高めていこうと考えています。

(③) ゴミの分別をしっかりとできているのとしないのとでは、温室効果ガスの発生に大きな差が生まれます。また、節電を意識して生活するのとしないのとでは、電力エネルギーを生み出す際の温室効果ガスの発生に大きな差が生まれます。今すぐできるこの二つのことで、私たちが生きる環境を守ることができるのです。「ゴミの分別と節電徹底運動」をまずは自分たちの普段の生活の中で実行し、さらにそれが地域へと広がっていけば、間違いなく私たちが生きる環境をよりよく保つことができると考えます。

7 単元の指導計画（全6時間）

過程	活動のねらい	主な学習活動	時間	指導上の留意点	追究過程
導入	○ 学習のねらいを明確にするとともに、単元全体の学習のイメージをもつ。	1 単元の学習課題と流れを確認する。 【単元の学習課題】 私たちが生きる環境をよりよくするにはどうすればいいか。 2 学習計画を立てる。	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>本単元の学習課題を解決する企画を、学級での企画会議を通して導き出すことを確認する。</li> <li>本単元を通して考えた企画は、かごしま環境未来館で紹介することを確認し、目的意識と相手意識をもつことができるようにする。</li> <li>既習教材「フロン規制の物語—(杞憂)と(転ばぬ先の杖)のはざままで」を通して学習したことや考えたことを想起できるようにする。</li> <li>教科書の学習材と映像資料を用いて企画会議の仕方や流れを確認する。</li> <li>企画会議を通して単元の学習課題の答えを導き出すために、以下の要素が必要なことに気付くことができるようにする。</li> </ul>	<p>「今の地球の環境はどんな状態なのか、集めた情報を整理して確認する必要があるね。」 「かごしま環境未来館で発表するとなると、根拠をはっきりさせた、説得力のある企画にしたいよね。」 「学級での企画会議では、お互いの考えがうまくミックスされて、よりよい提案に練り上げられたらいいよね。」</p> <p>【要素】 ① 情報の整理 ② 説得力のある企画 ③ 効果的な話し合い</p> <p>気付き</p>
展開	○ 単元の学習課題の解決に向けて、アイデアを出し、グループとしての企画の大まかな内容を決める。	3 個人で企画会議に向けてアイデアを出す。 4 グループで企画の大まかな内容を決める。	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の学習課題の解決に向けて、<b>ウェビング</b>で発想を広げることができるようにする。</li> <li>ウェビングをして考えたことをもとに、グループとしての企画の大まかな内容を話し合っ決めていくことができるようにする。</li> <li>次時までには、グループで決めた企画に関係する情報を集めることを確認する。</li> </ul>	
	○ 集めてきた情報を、比較したり、分類したり、関係付けたりしながら、グループとしての企画書の形にまとめる。	5 グループで企画会議に向けた企画書を作る。	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>集めてきた情報をもとに、グループで一つの企画書をホワイトボードにまとめることができるようにする。</li> <li><b>ピラミッドチャート</b>を用いながら、情報を比較したり、分類したり、関係付けたりして、グループの企画書としてホワイトボードに考えをまとめることができるようにする。</li> </ul> <p>[ループリック【要素】①～③]</p>	
	○ グループの考えを学級全体の中で出し合い、比較したり、分類したり、関係付けたりしながら、お互いの企画について検討し、学級全体として合意形成をする。	6 学級で企画会議を開き、企画を検討する。	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時で作ったグループの企画書（ホワイトボード）を基にそれぞれが企画を提案し、全体で検討する形で会議を進める。</li> <li>司会を立て、生徒同士で会議を進行できるようにする。</li> </ul>	

		<p>7 企画会議を振り返り、企画をよりよくする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の学習課題の解決に向けて、合意形成をしながら会議を進めることができるようにする。 <b>納得</b></li> <li>誰のどんな質問・意見によって、どのように考えが深まったかという視点で振り返ることができるようにする。</li> <li>第4時の企画会議の振り返りでは、以下の三つの視点から企画を検討することの重要性に気付くことができるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 重要度 → 企画が重要と言える根拠となる情報を示す。</p> <p>② 実現可能性 → 企画が中学生という立場で実行できる。</p> <p>③ 効果 → 企画がよりよい課題解決に結び付く。</p> </div> <p>[ルーブリック【要素】①～③]</p>
		<p>8 学級で企画会議を開き、企画を検討する。</p> <p>9 企画会議を振り返り、企画をよりよくする。</p>	<p>1 (本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時の企画会議を受け、「重要度・実現可能性・効果」の三つの視点から企画を検討することができるようにする。</li> <li>第5時の企画会議の振り返りでは、「重要度・実現可能性・効果」の三つの視点から、どのように企画を検討することができたかを振り返ることができるようにする。</li> </ul> <p>[ルーブリック【要素】①～③]</p>
<p>終末</p>	<p>○ 企画会議で検討された点を調整し、企画を完成させる。</p>	<p>10 企画会議の内容を踏まえて、企画をグループでまとめる。</p> <p>11 単元全体の学びの振り返りをする。</p>	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の学習課題を解決する企画を、企画会議で検討した「重要度・実現可能性・効果」の三つの視点を踏まえてまとめることができるようにする。</li> <li>ルーブリックシートを用いて単元全体の学びを振り返り、今後の実生活へつなげる意志をもつことができるようにする。 <b>意志</b></li> </ul> <p>[ルーブリック【要素】①～③]</p>

「世の中の何かの課題を解決しようとするときは、視点を定めて考えた方がいいことが分かったね。」  
「複数の情報を比べたり組み合わせたりすることで、根拠がはっきりしたり、考えに説得力が出たりするんだね。」  
「これから世の中の何か他の課題の解決に向けて取り組むときにも、今回した企画会議のように、多くの人の考えを合わせて、よりよい答えを導き出せたらいいな。」

## 8 本時の実際（5／6）

### (1) 目標

企画会議を開き、合意形成をしながら、単元の学習課題の解決に向けて、企画を検討することができる。

### (2) 目標行動

「重要度・実現可能性・効果」の三つの視点から企画を検討し、合意形成をしながら、互いの企画をよりよいものにすることができている。

### (3) 授業設計の工夫

#### ア 多様な情報を多面的・多角的に精査し構造化する学習過程の設計

本時の企画会議は、前時までにグループでまとめた企画をホワイトボードに記入し、それをもとに各グループがまずそれぞれの企画の提案をし、その後全体で検討するという形式で行う。また、司会を立て、参加者が協力して問題解決や合意形成ができるように、さまざまな意見を引き出したり、調整したりしながら、会議を進行させる。その際、課題を共有したり、合意を確認し合ったりしながら進行をさせ、単元の学習課題の解決に向けて、企画を検討させたい。

#### イ 生徒の思考を広げ深めるための質問を意識した対話の設定

本時の企画会議では、各グループの企画の提案の後に、それぞれの企画について、「重要度・実現可能性・効果」の三つの視点を踏まえて質疑応答をすることで、企画をよりよいものにしていく。その際、司会の進行によって、それぞれの企画のよさや課題、共通点や相違点などに気付かせ、全体としての合意形成をさせる。そのような学習活動を通して、一人一人の考えを広げ深めさせたい。

#### ウ 見通し・振り返る活動の充実を図るためのルーブリックの活用

本単元では、自分たちが生きる環境をよりよくするための企画を提案するという目標に向けて学習計画が組まれている。各活動の必然性や関連を実感させ、見通しをもって授業に臨ませるため、一単位時間の導入と終末でルーブリックシートを活用させたい。

### (4) 展開

過程	主な学習活動	時間形態	指導・支援の留意点
導入	<p>1 前時の学習を想起し、本時の学習の目的を確認する。</p> <p>2 単元の学習課題と本時の学習目標を確認し、本時の学習の流れを理解する。</p> <p>[単元の学習課題]</p> <p>私たちが生きる環境をよりよくするにはどうすればいいか。</p> <p>[学習目標]</p> <p>三つの視点に沿って企画会議で企画を検討し、企画をよりよいものにする。</p>	<p>3 一斉</p> <p>3 一斉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子黒板とルーブリックシートを活用しながら、単元の流れと本時の位置付けを確認し、学習の見通しをもつことができるようにする。</li> <li>・ 単元の学習課題の解決に向けて、本時の学習の意義を理解し、到達目標を明確に把握することができるようにする。</li> </ul> <p>〈学習の流れ〉</p> <p>① 企画会議を開き、企画を検討する。 ② 企画会議を振り返り、企画をよりよくする。</p> <p>〈企画会議の三つの視点〉</p> <p>① 重要度 → 企画が重要と言える根拠となる情報を示す。 ② 実現可能性 → 企画が中学生という立場で実行できる。 ③ 効果 → 企画がよりよい課題解決に結び付く。</p>

	3 教科書の企画会議の例文を音読する。	4 グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>例文を音読することで、自分たちがする企画会議で企画を検討しながら、合意を形成するイメージをもつことができるようにする。</li> </ul>
展開	4 企画会議を開き、企画を検討する。  5 企画会議を振り返り、企画をよりよくする。	20 全体  15 個・ 全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>司会を立て、その進行に沿って生徒同士で会議を進める。</li> <li>前時で作ったグループの企画書（ホワイトボード）を基にそれぞれのグループが学習課題を解決するための企画を提案し、全体で検討する形で会議を進める。</li> <li>〈企画会議の三つの視点〉に沿って、質問や意見を出しながら企画を検討することができるようにする。</li> <li>単元の学習課題の解決に向けて、合意形成をしながら会議を進めることができるようにする。</li> <li>誰のどんな質問・意見によって、どのように考えが深まったかという視点で振り返ることができるようにする。</li> <li>〈企画会議の三つの視点〉から、どのように企画を検討することができたかを振り返ることができるようにする。</li> </ul> <p>②情報活用力 レベル4（情報を比較しつつ、それらの真偽を見極め、適切に活用することができる）</p>
終末	6 本時の学習を振り返り、次時へのつながりを確認する。	5 個	<ul style="list-style-type: none"> <li>ループリックシートを活用し、本時の学習の意義の自覚化を図り、次時の学習への意欲を高めることができるようにする。</li> </ul>